

学校のあり方
CO₂削減
支所・分室の廃止

2月議会報告

市長・教育長の姿勢を質す

「小中一貫」ありきでなく、

急がず時間をかけた検討を

子ども像・特別支援・少人数数学級など議論不足

「時期尚早ではない」（教育長）と答弁した「施設一体型（小学校と中学校が同じ建物）義務教育学校」の設置に向けた動き。令和5年には具体的になります。しかし、「小中一貫義務教育学校ありき」

の姿勢は問題です。いま深めるべきテーマがありません。一つは、「子ども像、特別支援教育、少人数数学級」などの議論が不足しています。二つ目には、義務教育学校設置で、本当に教育

課題が解決するかです。もっと検討を深めること、そして、何より学校現場における議論が必要です。



期限を定めて石炭火発の廃止を！



国連はCO₂を2030年までに2010年比で45%減という目標を定めています。日本政府はそれを誠実に守ろうとはしません。国際的な流れからいっても、

で「下川町で基幹産業の林業を生かして木材チップから発電し、地域の雇用や新たな産業づくりに役立つ」例もあげて、市長の姿勢をただしました。

の再利用など脱炭素に向けた様々な取り組みを行っている」と答弁。火発の廃止については言及するどころか、今後も釧路火発に固執する姿勢を見せました。

釧路石炭火力発電所を始め民間火発も2030年を目途に廃止すべきではないでしょうか。その上で、再生可能エネルギーの比重を高めるべきです。西村議員は代表質問

市長は、「火力発電について国は再生可能エネルギーの調整力として必要であると位置付けている。釧路火発の安定稼働が必要と考えている。釧路市は既にCO₂

の再利用率など脱炭素に向けた様々な取り組みを行っている」と答弁。火発の廃止については言及するどころか、今後も釧路火発に固執する姿勢を見せました。



支所問題を4人の議員全員が質問

住民運動と連携して、存続を強く求める

「市は支所の役割をどう考えているのか」（西村議員の代表質問）、「3897筆の支所存続を求める署名が提出された。廃止方針はいったん撤回すべき」（工藤議員）、「説明会で廃止に賛成した意見は一人だけ。圧倒的多数の反対の声に従うべきではないか」（村上議員）、「帯広市は市役所を除き10か所で住民票を交付している。支所を廃止する釧路市とどっちが便利と考えるか」（梅津議員）と、様々な角度から支所存続を求め

質問しました。しかし、市は「残りの説明会をやって検討していく」と繰り返しばかり。市民サービスの低下を押しつけようとしています。

「桜ヶ岡支所に、郵便局、大型スーパーもあって、便利な地域になっている」、「公住を減らし、スーパーも撤退。支所までなくして、美原の地域づくりを市はどう進めるつもりか」、「大楽毛ではすでに世帯数の半数以上の存続署名が集まっている」と地域の声を代弁し



JR大楽毛駅に併設されている大楽毛支所

市民が主人公
日本共産党

釧路市議団だより

発行：日本共産党議員団 <http://jcpsigi.com/>
釧路市役所本庁舎2階 TEL・FAX 0154-23-5212

2022年
4・5月号



日本共産党
釧路市議団 HP

このチラシは政務活動費で作成しています

市長に 提言

子どもの医療費無料化と 抗原検査キットの配布を



通院も中学卒業まで無料に

子どもの医療費無料化については、釧路市はとりわけ通院の無料化が遅れています。市民の粘り強い運動で、ようやく昨年からの入院は18歳以下まで無料化が拡大しました。しかし通院はいまだに小学校入学前までです。管内でも特に遅れているため、改めて西村議員が問いました。市長は「入院は突発的で負担も大きいから拡大した。子どもの医療費はどこに住んでいても同じであるべきだ」と従来の答弁の繰り返しです。しかし中学校卒業まで無料化しているところが9割に達しています。これからも住民運動と一体に、粘り強く求めていきます。

抗原検査キット購入を増やし、 更なる活用を提案

「高齢者施設などの機能を守るために活用していて、現状の中で対応できている」（蝦名市長）。そこで、私たちは、更なる活用を提案しました。「早期に感染を発見し、治療につなげるために65歳以上の市民と基礎疾患を有する方」を対象に配布した東京都世田谷区。「陽性者や濃厚接触者と接触があったが、保健所の検査対象に該当せず、感染に不安がある」市民に配布した深川市等。「状況が変われば対応する」ではなく、次を見据えての備えを強調しました。

ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

2月24日に開始されたロシア軍によるウクライナへの侵略は、明らかに同国の主権及び領土の一体性を侵害し、武力行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反であって、断じて許されない行為である。

こうした力による一方的な現状変更は欧州にとどまらず、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態であり、釧路市としても看過できるものではない。

よって、釧路市議会は、今般のロシア侵略行為に対し強く非難するとともに、これまで積み上げてきた日本とロシアとの関係を無にしないためにも、国際法を厳守しロシア軍が即時攻撃を中止し、撤退することを強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月8日

釧路市議会

釧路市議会は、2月25日に2月定例議会を開会しましたが、冒頭の蝦名市長の「市政方針」演説では、ロシアのウクライナへの軍事行動には、全く触れられませんでした。共産党市議団は、25日昼に議長に緊急要請し、「ロシアのウクライナへの侵略に対して、釧路市議会として抗議の意思を示すこと、そのために議長にリーダーシップを発揮してほしい」と求めました。議長は「今後のロシアとウクライナの状態を見て判断する」との対応でしたが、私たちは強く求めて、今回の「決議」につながりました。



「ロシアのウクライナへの軍事侵略は、やめよ！」と昼休みに、市役所前宣伝を行いました

議長に緊急要請、議会で議決！

ロシアの侵略に抗議決議！！

政党	可否
共産党 (4人)	○
市民連合 (5人)	○
新風 (2人)	○
自政ク (8人)	×
公明党 (5人)	×
新創ク (2人)	×
採択結果	×

「高齢者の医療費窓口負担の2割化を撤回し、原則1割の継続を求める意見書」
自政ク・公明党・新創クが反対し否決に

条例違反は許されない 音別認知症グループホーム 廃止！？

施設を休止して2年。市は予算もなくして、廃止に足を踏み出しました。条例で設置を決めているのですから、条例に沿って予算措置をして、再開へ努力すべきです。



音別町認知症高齢者グループホーム